

② ドローン等を活用した獣害対策事業

住む 癒す 学ぶ
動く 楽しむ その他

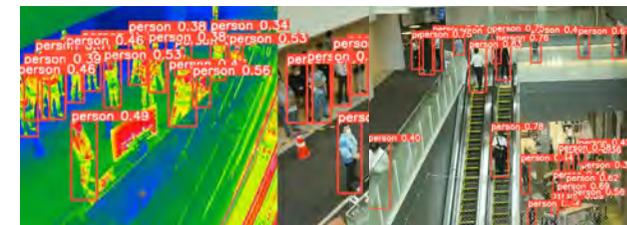
① 提案によって解決する自治体の課題のイメージ

- ・ 住民避難により空き家や耕作放棄地が増加し、野生鳥獣の生息域拡大による鳥獣害被害が深刻化している状況をドローンによる害獣の生息域調査及び監視を行い、また様々な手法による追い払いの実証により、効果的・効率的に被害の拡大を抑え、自治体の作業負担軽減を支援。

② 提案の概要

- ・ ドローン搭載の可視カメラ/サーモカメラからの撮影による検知システムによって、定点観測的に野生動物の動きや生息域の調査を実施。またサーチライト、音響スピーカー等のドローン搭載によって威嚇効果を高め、巡回パトロールを実施。生息域調査によって得られたデータを解析し、野生動物の嫌がる超音波等によって、最小限の人員で野生動物の追い払いの実証事業を実施する。モニタリングで得られたデータ分析の結果、野生鳥獣の行動範囲が把握・予想できるようになれば、より効率的に巡回ルートを特定し、さらにドローンの飛行データを蓄積、可視化利用することで、より効果的に侵入防止策等を講じる。

ドローン搭載カメラからのリアルタイム検知により、野生動物の動きや生息域を調査・監視（イメージ）



- ・ 地上からは、野生動物に対して、小型低消費電力、遠方まで明るく明瞭な光パターンを投影可能な照明装置「DNP高視認性パターンライト」を照射し、重点スポットには、景観（自然）になじみ、印刷のため注意をひく「DNPサウンドパネル」（デジタルかかし）等を設置して、効果的に野生動物を追い払う実証を並行して実施する。

「DNP高視認性パターンライト」



「DNPサウンドパネル」



③ 事業実施に対し必要な要件

- ・ ドローンの夜間運用申請
- ・ 獣害発生地区でのドローンが飛行可能なエリアの設定

④ 想定スケジュール

- ・ 準備想定時間（2～3か月）
- ・ 実証は2～3日を想定

⑤ 地元企業等とのマッチング希望

あり なし

会社名 : 大日本印刷株式会社